



感染症対策を徹底して 牧場へのウイルスの侵入を防ぐ



- ✓ 不要な外出を控えてウイルスを持ち込まない
- ✓ 広い牧場でも家族間の感染を防ぐためマスクを着用
- ✓ 商品開発の打合せ等はリモートで

(商品開発の打合せはリモートで実施)

(放牧主体の酪農が行われている)

ー 感染防止を図る上で、牧場ならではの特徴などはありますか。

当牧場は放牧を中心としており、また、牛舎においても十分な空間があるため、極めて密になりにくい環境といえます。そのため、外からの新型コロナウイルスの侵入を防ぐことが、最大の防御になると考えました。

対策として、スタッフである家族は、不要な外出を控えることを徹底し、現在も、これは継続しています。

一方、私たちが行っている放牧主体の酪農と、その魅力についてお伝えするために、興味を抱いてくれる方々を招くことができなくなっていることが課題といえます。



(仕事中は必ずマスクを着用)

ー 外出の自粛のほか、どのような感染拡大防止対策を図っていますか。

作業中に人と触れ合うことはほとんどありませんが、家族同士の感染を防ぐという観点から、常時、マスクを着用しています。JAの担当者など来訪者がお見えになる際にも、もちろんマスクを着用して対応しています。常に気を抜かず、細心の注意を払っています。



(ECサイトの強化を推進)

ー 生乳を使ったオリジナル商品の開発も行っていますね。

アイスクリームとカタラーナを自社工場で製造しています。自社のホームページからリンクするショッピングサイトで販売していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、現在、ネット販売の強化に取り組んでいるところです。例えば、商品ブランドを統一させる戦略をデザイナーに相談しながら策定していますが、そうした打合せについてはリモートが主体となっています。



ー 新たな商品なども、今後は投入される予定はありますか。

地元で穫れるそばの実を生かした商品など、地域を巻き込んだ商品開発ができないか、考えています。

また、ほかの地域の製品とのコラボ商品の話も動き始めました。コロナ禍によって、ネット通販に盛り上がりが見られることは、逆にチャンスなのではないかと考えています。

【企業プロフィール】
 名称: 道北池田牧場
 本社: 枝幸郡浜頓別町
 業種: 酪農業
 概要: 昭和25年、入植により農業を開始。現在は放牧主体の酪農スタイルで営農を行い、商品開発も手がけている。
 H P : <https://farm-ikeda.jp>
 TEL : 01634-5-6426